

分析機器部門講習会シリーズ

遺伝子導入装置 4D-Nucleofector®デモセミナーのお知らせ

【概要】

医学や病理学の分野において初代細胞を使った実験の需要は年々増大しているものの、遺伝子導入を高効率で行うことは非常に困難であり研究の進展の妨げとなっています。LONZA社のNucleofector®は試薬と電気プログラムを組み合わせた非ウィルス性の遺伝子導入システムであり、従来のリポフェクションやエレクトロポレーションで困難だったT細胞や神経細胞などで高効率・高生存率の遺伝子導入を可能にしました。これまでにNucleofector®を使って発表された論文は2000報を超え、680種類の細胞に対してそれぞれに最適化プロトコルと実験結果のデータベースが整備されており、ユーザーは条件検討の時間を省き最小限の作業で最大の結果を得ることが可能です。

新製品の4D-Nucleofector®は、最大18サンプルの同時処理、容量の異なる2種類のキュベットによるフレキシブルな細胞数への対応、トリプシン処理に弱い神経細胞を付着培養したまま遺伝子導入するアプリケーション等多くのユーザーの声を反映させました。本セミナーでは、Nucleofectorの遺伝子導入の基本的な特徴について、および新製品の4D-Nucleofector®に追加された機能についてご紹介いたします。

日 時 : 平成22年12月16日(木) 16:00~17:00

受講対象 : 利用者

講習内容 : ・Nucleofectorシリーズの遺伝子導入の基本的機能と特徴の解説
・Nucleofectorシリーズを使用した応用例と4D-Nucleofectorの特長
・4D-Nucleofectorの基本操作とプロトコルの説明
・4D-Nucleofectorを使った遺伝子導入のデモ

場 所 : 分析機器部門遺伝情報解析室研究室4 (実習講義棟2階共同研究室1)

定 員 : 15人

受講料 : 無料 (デモ希望者は事前にお知らせください)

申込期間 : 平成22年12月10日(金)まで

申込方法 : 電子メールで、Subjectを「nucleofector」とし、「所属講座名」「氏名」「内線番号」「電子メールアドレス」を明記の上、yitoh@med.nagoya-u.ac.jp宛にお申込ください。

お問い合わせ先

医学教育研究支援センター 分析機器部門

(内線: 2403, Email: yitoh@med.nagoya-u.ac.jp)

* Webでも講習会情報を掲載しています(URL: <http://www.med.nagoya-u.ac.jp/kiki/>)